

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公開番号】特開2008-279508(P2008-279508A)

【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2008-122857(P2008-122857)

【国際特許分類】

B 2 2 C 7/02 (2006.01)

B 2 2 C 9/04 (2006.01)

C 0 8 L 91/06 (2006.01)

【F I】

B 2 2 C 7/02 1 0 1

B 2 2 C 9/04 G

C 0 8 L 91/06

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

ポリオレフィンワックスを調製するためのメタロセン触媒は、式 M^1L_x のキラルまたはアキラル遷移金属化合物であるのが好ましい。遷移金属化合物 M^1L_x は、少なくとも 1 個の中心金属原子 M^1 を含み、それに少なくとも 1 つの _____ リガンド、例えばシクロペンタジエニルリガンド、が結合される。加えて、ハロゲン、アルキル、アルコキシまたはアリアル基のような置換基が中心金属原子 M^1 に結合されることができ、 M^1 は、元素周期表の主族 III, IV, V または VI の元素、例えば、Ti, Zr または Hf であるのが好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

本発明の目的から、シクロペンタジエニルリガンドは、非置換のシクロペンタジエニルラジカルおよび置換されたシクロペンタジエニルラジカル、例えば、メチルシクロペンタジエニル、インデニル、2-メチルインデニル、2-メチル-4-フェニルインデニル、テトラヒドロインデニルまたはオクタヒドロフルオレニルラジカルである。_____ リガンドは、橋かけするかまたは非橋かけにすることができ、環系を経ることを含む、単一のおよび複数の橋が可能である。メタロセンなる用語は、また、多核メタロセンとして知られている 1 つより多くのメタロセン断片(fragment)を有する化合物も包含する。これらは、任意の置換パターンおよび橋かけ変種を有することができる。そのような多核メタロセンの個々のメタロセン断片は、同一にするかまたは互いに異なるかのいずれかにすることができる。そのような多核メタロセンの例は、例えば、EP-A-0 632 063に記載されている。